

五七二二 「動靜」

神本しんほんに在りては則ちすなわ活立かつりつす、

五七二三 天神てんしんに在りては則ちすなわ機跡きせきす、

五七二四 宇宙うちゅうに在りては則ちすなわ通塞つうそくす、

五七二五 天地てんちに在りては則ちすなわ動止どうしす、

五七二六 徳とくに居おる、

五七二七 道どうに行いく、

五七二八 物ぶつに定ただむ、

五七二九 事じに變へんず、

五七三〇 轉てんに轉てんず、

五七三一 持じに持じす、

五七三二 華かに發はつす、

五七三三 液えきに收おさむ

往ゆくとして動靜どうせいに非あらざる莫なし。動靜どうせいは是これ機き。廼すなわち本根ほんこんの精せいなり。

此この氣きは以もつて華液かえきを發收はつしゆうす。故ゆえに

靜せいなる者ものは其その精せい以もつて隱かくる、

動どうなる者ものは其その麤そ以もつて見あらわる、

靜せいを以もつて。神しんに路ろす、
物ぶつに宅たくす、

已すでに能よく路宅ろたくを爲なす。故ゆえに物ぶつの露ろする。虚天實地きよてんじつち。皆みな其その中ちゆうに在あり。

* 五七三九 其の運轉升降。拗突高下。芸芸擾擾。皆な靜に由りて紀す。是を以て

* 五七四〇 動に非ざれば見る可からず、

* 五七四一 靜に非ざれば位す可からず、故に

* 五七四二 動なる者は止地を得て、變擾以て紀する有り、

* 五七四三 靜なる者は動天を得て、蘊奧以て發する有り、

* 五七四四 中なる者は止の宗なり。

* 五七四五 止なる者は靜の位に就きて言うの辭なり。

* 五七四六 氣物は天地を結びて。其の質は地に實す、

* 五七四七 其の氣は轉に達す、故に

* 五七四八 天地は動止を分ちて。止まる者は天を散じ地を結ぶ、

* 五七四九 動なる者は天を轉じ地を持す、

* 五七五〇 轉中は以て運轉環守す、

* 五七五一 持中は以て哮喘發收す、故に

* 五七五二 靜は則ち天の體、混淪の物の宅する有り、

* 五七五三 動は則ち神の用、鬱淳の氣の活する有り、故に

* 五七五四 塞する者は靜なり、天は容れ物は居り、動の跡を見さず、

* 五七五五 通ずる者は動なり、時は率い期は従い、靜の物を見さず、

* 五七五六 止まる者は動かす、

* 五七五七 位は立ちて物は居る、

(PB 399)

(I 441b)

五七六〇*
 五七六一*
 五七六二*
 五七六三*
 五七六四
 五七六五
 五七六六
 五七六七
 五七六八

形けいは成なりて體たいは立たつ、
 動どうなる者ものは止とどまらず、
 象しょうは旋めぐり歳さいを爲なす、
 質しつは動うごき運うんを爲なす、
 轉てんずる者ものは轉てん守しゆす、
 持じする者ものは持じ止しす、
 發はつする者ものは鬱うつ發はつす、
 收おさむる者ものは肅しゆく結けつす、
 剖ぼうに從したがいて機き有あり。

(PB 400)